

南会津山菜山行報告

【山城】南会津

【コース】5/20(土) 長卸山、山椒山 5/21(日) 佐倉山

【天候】両日とも、快晴、暑い

【メンバー】CL 柘植, SL 小倉, 小俣(食担), 鶴田, 村尾, 斉藤一, 杉山, 澤田路, 石橋, 安岡, 加藤(記録)

至松枝岐



【報告】5/20(土) 長卸山、前山～山椒山 10:00 登山開始、14:00 終了

東北自動車道走行中 CL の車の前輪がパンクするトラブルあり。予備タイヤと交換し、道の駅たじまにて今回の3台の車が集合する。まず南会津の木賊温泉西側の長卸山を目指す。昭文社地図「尾瀬」の右上端にあるが山名はない。熊野神社前の清流を渡り、境内にて山行の無事を祈念し歩き出す。緑が濃くなる今の季節はミツバツツジが満開である。CL, SL 先頭にコシアブラに目を光らすが見つからず、焦りが出始めたころ山頂近くでようやくコシアブラを発見する。結構な収穫。展望ない山頂を後にして木賊温泉広瀬の湯の駐車場に下り、車道を数十分歩くとゼンマイを乾燥させている地元のおばさんがいてしばし談笑する。干したてのゼンマイはミミズのような姿で驚く。今度は車道を挟んだ木賊温泉東側の山椒山を目指す。昭文社地図に山名はあるが登山道は記載されていない。この山はさいたま市少年自然の家の子供たちが利用するせいか登山道はよく整備され、危険箇所にはトラロープが張ってある。肩に当たる前山で大休止。この山頂には写真と山の名前が書かれたパネルが置いてあり、荷物を置いて山椒山まで往復する。ここまで結構なコシアブラを追加できた。急に藪の踏み跡となり、展望のない山頂を確認後すぐ引き返した。少年自然の家の方向に下山した後はいよいよ温泉である。男性陣は清流に面した露天風呂、女性陣は広瀬の湯に立ち寄った。今宵の宿泊場所は「しらかば公園キャンプ場」。奥まった広い敷地にグラウンド、テニスコート、体育館、キャンプ場があり、利用者はわれわれ以外にいなかった。せせらぎの音が響き静かな環境である。さっそく食事の準備に取り掛かる。コシアブラの天ぷらの他、食担の小俣さんが副菜としてエビフライ、豚汁、サラダ等を皆に指示して料理していた。SL の小倉さんもクレソン、コゴミ、さらには自家製のお米の差し入れもあり、夕食後は焚火を囲んで夜遅くまで寛いだ。



長卸山登山口へのアプローチ



そしていきなり山頂写真



山頂から望む三岩岳方面



一旦木賊温泉に下山して山椒山を目指す



山椒山から下山して眺める長卸山



木賊温泉の露天風呂（男性陣）

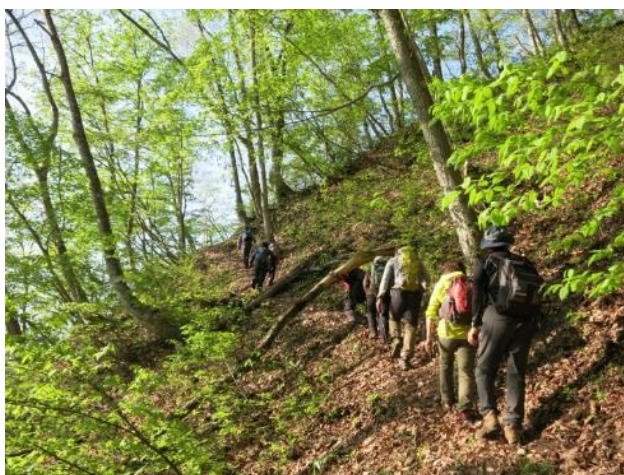


5/21(日) 佐倉山 6:50 北東の尾根登山～南西尾根下山 10:00

佐倉山登山口付近の駐車スペースはあるのだが、個人の住宅の敷地であるので、許可をもらうため右往左往していると正面の家の親切な方が許可してくださり3台分お言葉に甘えて駐車する。いきなり急登で谷側が切れ落ちている。しかもヤセ尾根でバランスを崩さないようにCL先頭に慎重に歩く。昨日と違って山菜を探すことはないで足元に注意し、高度を稼ぐと展望がよい旧テレビ塔のある平坦地に着き、休憩。ここから気を引き締め岩稜のピークを越えて行くが、鎖場は無く、トラロープはたくさんあり、転ばないように慎重に歩を進める。



佐倉山の登山口



最初は藪っぽかったがやがて穏やかな道に



テレビ塔跡を過ぎると俄然急登となる



途中で展望の開けたところから七ヶ岳方面



岸壁のトラバース部分



佐倉山の山頂

前方が開けると頂上である。会津駒ヶ岳のなだらかな山容、会津七ヶ岳、ふもとの田んぼ、町並みがよく見える。ただし、日陰が無く風もないので暑い。下山は南西尾根、北東の尾根よりは歩き良い。車道に出てか

ら1時間の林道～農道歩きがあるが、歩きはじめてしばらくすると地元の方の軽トラックが来た。小倉さんが頼み込んで、ドライバー3名を登山口の駐車スペースに送り届けてくれた。橋の付近で戻ってきたクルマに乗車でき、農道歩きを30分短縮できた。地元の方は本当に親切で感謝である。最後に道の駅たじまでテントを乾燥させ、山菜を分配して解散した。



山頂から望む会津駒ヶ岳方面の山並み



登りと違って佐倉山の下山は穏やかな道



拾ってもらった軽トラでクルマ回収へ